



平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社やまや
コード番号 9994 URL <http://www.yamaya.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山内 英靖
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 久野 朋美
定時株主総会開催予定日 平成24年6月28日 配当支払開始予定日
有価証券報告書提出予定日 平成24年6月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・証券アナリスト向け

TEL 022-742-3115
平成24年6月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	111,940	1.5	3,599	30.7	3,817	33.7	2,143	165.1
23年3月期	110,241	2.6	2,754	55.1	2,855	54.7	808	19.6

(注) 包括利益 24年3月期 2,144百万円 (166.2%) 23年3月期 805百万円 (13.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
24年3月期	197.63	—	12.4	11.5	3.2
23年3月期	74.56	—	5.0	8.7	2.5

(参考) 持分法投資損益 24年3月期 34百万円 23年3月期 7百万円

当社は平成24年2月1日付で株式1株につき1.1株の株式分割を行っております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標を表記しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期	33,875	18,321	54.1	1,689.51
23年3月期	32,593	16,348	50.2	1,507.14

(参考) 自己資本 24年3月期 18,321百万円 23年3月期 16,348百万円

当社は平成24年2月1日付で株式1株につき1.1株の株式分割を行っております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標を表記しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	2,224	△1,062	△2,567	2,461
23年3月期	3,979	△1,331	△1,282	3,866

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
23年3月期	—	—	—	17.00	17.00	167	22.8	1.1
24年3月期	—	—	—	20.00	20.00	216	10.1	1.3
25年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		9.9	

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	59,000	7.6	1,800	3.5	1,900	3.2	1,120	0.8	103.28
通期	120,000	7.2	3,800	5.6	4,000	4.8	2,200	2.6	202.87

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料16ページ「会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期	10,847,870 株	23年3月期	9,861,700 株
② 期末自己株式数	24年3月期	3,595 株	23年3月期	283 株
③ 期中平均株式数	24年3月期	10,847,008 株	23年3月期	9,861,437 株

(参考) 個別業績の概要

平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	80,725	2.3	2,467	10.7	2,635	11.5	1,269	19.4
23年3月期	78,878	3.3	2,229	29.2	2,364	45.6	1,063	85.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	117.04	—
23年3月期	98.01	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
24年3月期	28,637	17,710	17,710	16,611	61.8	1,633.17	1,531.40	
23年3月期	28,095	16,611	16,611	16,611	59.1	1,531.40	1,531.40	

(参考) 自己資本 24年3月期 17,710百万円 23年3月期 16,611百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表および財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の2ページ「経営成績に関する分析」をご参照ください。

○添付資料の目次

1.	経営成績	2
(1)	経営成績に関する分析	2
(2)	財政状態に関する分析	3
(3)	利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2.	企業集団の状況	6
3.	経営方針	8
(1)	会社の経営の基本方針	8
(2)	目標とする経営指標	8
(3)	中長期的な会社の経営戦略	8
(4)	会社の対処すべき課題	8
(5)	その他、会社の経営上重要な事項	8
4.	連結財務諸表	9
(1)	連結貸借対照表	9
(2)	連結損益計算書及び連結包括利益計算書	11
	連結損益計算書	11
	連結包括利益計算書	12
(3)	連結株主資本等変動計算書	13
(4)	連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5)	継続企業の前提に関する注記	16
	注記事項	16
	(開示の省略)	16
	(セグメント情報等)	16
	(1株当たり情報)	16
	(会計方針の変更)	16
	(重要な後発事象)	16
5.	個別財務諸表	17
(1)	貸借対照表	17
(2)	損益計算書	19
(3)	株主資本等変動計算書	20
(4)	継続企業の前提に関する注記	22
	(重要な後発事象)	22
6.	その他	
	役員の変動	22

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

① 事業全般の概況

当期のわが国経済は、東日本大震災の影響で寸断されたサプライチェーンの回復に伴い、持ち直しがみられましたが、依然、電力供給の制約、原子力災害の影響、さらに米欧の財政不安など先行き不透明な状況が続いております。

酒販業界では、震災後、自粛と節電で、業務用の需要がさらに減退し、また、ご家庭の需要も依然として低価格志向で、デフレ傾向が続いております。

このような中、当社は、東日本大震災からの早期復旧と、会社設立41周年目の再創業、やまやルネッサンスを合言葉に、お客様の視点に立った魅力あるお店づくりを目指してまいりました。

上半期は、自粛と節電による営業時間の短縮を余儀なくされ、震災の影響による生産品目の削減、物流インフラの毀損など、サプライチェーン不全による供給不足も影響し、国産品、輸入品ともに専門店に求められるお品揃えが不足し、売上高は微減となりました。

下半期、東北でのビール生産も再開され、水害のあった東南アジアを除き、内外の新たなサプライチェーンが機能し始めたことから、当社も、輸入、国産の専門的な品目を復活し始め、客数、売上とも上昇に転じることができました。

東北の蔵元を応援する「がんばれ東北」の売場を設け、被災地の地酒を販売し、全店で岩手、宮城、福島の地産を知ってもらう機会をつくりました。地産地消、現地調達を推進し、排出ガス削減と節電に取り組みました。

震災の応急復旧後、さらにイメージを刷新するリニューアルを図りました。

震災の被災地域では、やまや塩釜店(塩釜市)、やまや石巻店(石巻市)、やまや多賀城店(多賀城市)、やまや江刺店(奥州市)、やまや北上店(北上市)、やまや一関店(一関市)、やまや鹿島台店、やまや大崎店(大崎市)、やまや吉岡店(宮城県大和町)、やまや小牛田店(宮城県美里町)、やまや矢本店(東松島市)、やまや東鶴ヶ谷店、やまや柳生店、やまや新田東店、やまや生協南光台店(仙台市)、やまや名取店(名取市)、やまや岩沼店(岩沼市)、やまや船岡店(宮城県柴田町)、やまや郡山朝日店(郡山市)、やまや東大沼店(日立市)を改装いたしました。

その他の地域では、スピード東香里店(枚方市)、スピード南津守店、楽市阿倍野帝塚山店、楽市阿倍野阪南町店(大阪市)、楽市茨木水尾店(茨木市)、楽市門戸厄神店(西宮市)を「やまや」に業態変更し、やまや酒田店(酒田市)、やまや海老ヶ瀬店(新潟市)、やまや青木店(川口市)、やまや久喜店(久喜市)、やまや戸田店(戸田市)、やまや道玄坂店(東京都渋谷区)、やまや碑文谷店(東京都目黒区)、やまや藤が丘店(名古屋市)、やまや六甲道店(神戸市)、楽市東淀川菅原店(大阪市)、スピード豊中小曾根店(豊中市)、楽市いながわ店(兵庫県猪名川町)を改装し、あわせて、38店舗をリニューアルいたしました。

新規出店は、やまや泉野村店、やまや市名坂店、やまやあすと長町店(仙台市)、やまや鶴田店(宇都宮市)、やまや太田高林店(太田市)、やまや高津店(土浦市)、やまや本庄店(本庄市)、やまや熊谷柿沼店(熊谷市)、やまやつくば学園店(つくば市)、やまや尾張旭店(尾張旭市)、やまや梅津店、やまや千本丸太町店(京都市)、やまや池田店(池田市)、やまや和泉中央店(和泉市)の14店を開店しました。

やまや池田店の開店に伴い、楽市池田本店を閉店いたしました。

震災の津波の被害が甚大であった塩釜貞山店（塩釜市）、石巻鹿妻店（石巻市）、地震の被害が大きかった富久山店（郡山市）の4店舗を閉店いたしました。

以上の結果、当社グループの総店舗数は272店舗になりました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高が1,119億40百万円（前年同期比101.5%）、営業利益は35億99百万円（同130.7%）、経常利益は38億17百万円（同133.7%）、当期純利益は21億43百万円（同265.1%）となりました。

なお、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高となりました。

② 次期の見通し

次期の見通しにつきましては、長期的なデフレ傾向が続く中、電力不足による企業活動への影響による懸念、消費税の増税に向けた動きなど、厳しい事業環境が継続するものと思われま

す。酒販業界におきましても、業種業態を超えた価格競争など、生き残りをかけた厳しい環境となることが予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き、お客様の視点に立った魅力あるお店づくりを目指し、輸入商品、地域商品の両面でお品揃えの強化に努め、地域密着のドミナント形成を図り、積極的な新規出店と改装による既存店の活性化を推し進め、酒販事業の拡大に努めてまいります。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高1,200億円（当期比107.2%）、営業利益38億円（同105.6%）、経常利益40億円（同104.8%）、当期純利益22億円（同102.6%）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当連結会計年度末 (平成24年3月31日)	増減
総資産（百万円）	32,593	33,875	1,281
総負債（百万円）	16,244	15,553	△690
うち借入金（百万円）	5,108	2,712	△2,395
純資産（百万円）	16,348	18,321	1,972
自己資本比率	50.2%	54.1%	3.9%

総資産は、前連結会計年度末と比較して、12億81百万円（3.9%）増加し、338億75百万円となりました。

流動資産は、16億98百万円（11.9%）増加し、159億23百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が14億4百万円減少し、商品及び製品が24億32百万円増加したことによるものです。

固定資産は、4億17百万円（△2.3%）減少し、179億51百万円となりました。主な要因は、減価償却が進んだことによるものです。

総負債は、6億90百万円（△4.3%）減少し155億53百万円となりました。

流動負債は、2百万円（△0.0%）減少し、134億41百万円となりました。主な要因は、買掛金が17億69百万円増加し、短期借入金が18億円減少したことによるものです。

固定負債は、6億87百万円（△24.6%）減少し、21億12百万円となりました。主な要因は、長期借入金が5億95百万円減少したことによるものです。

純資産は、19億72百万円(12.1%)増加し、183億21百万円となりました。主な要因は、当期純利益により21億43百万円増加し、配当金の支払いで1億67百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の50.2%から54.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて14億4百万円(△36.3%)減少し、24億61百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は、22億24百万円(△44.1%)となり、前年同期と比べ17億54百万円減少しました。主な要因は、税金等調整前当期純利益が36億49百万円、減価償却費が13億40百万円、仕入債務の増加で17億69百万円となり資金が増加いたしました。一方で、たな卸資産の増加で24億21百万円、東日本大震災に伴う支出で2億41百万円、法人税等の支払いで11億37百万円となり資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、10億62百万円(△20.2%)となり、前年同期と比べ2億69百万円減少しました。主な要因は、新規出店と改装で有形固定資産の取得に9億64百万円を支出したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は、25億67百万円(100.1%)となり、前年同期と比べ12億84百万円増加いたしました。主な要因は、短期借入金の返済に18億円、長期借入金の返済に5億95百万円、配当金の支払に1億67百万円を支出したことによるものです。

(参考) 当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成20年 3月期	平成21年 3月期	平成22年 3月期	平成23年 3月期	平成24年 3月期
自己資本比率(%)	49.9	44.4	47.7	50.2	54.1
時価ベースの自己資本比率(%)	18.8	16.1	23.6	22.1	56.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	12.4	2.6	1.6	1.3	1.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	8.4	45.8	68.6	144.9	130.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

(利益配分に関する基本方針)

株式会社やまやは、安定的な配当を継続することが配当政策上重要であると考えております。さらに、企業体質の一層の強化と今後の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案して、利益の還元を実施していくことを基本方針といたしております。

なお、当社は、会社法第 459 条第 1 項に基づき、剰余金の配当等については取締役会が決定する旨を定款に定めています。

(当期の配当)

当期の剰余金の配当は、平成 23 年 11 月 4 日の「株式分割ならびに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、1 株につき普通配当 20 円といたします。

お支払の時期につきましては、平成24年 6 月14日からの予定です。

(次期の配当予想)

次期の配当金につきましては、配当方針に基づき、あらたに中間配当を実施し、中間配当として 1 株当たり 10 円、期末配当として 10 円の合計 20 円の配当を実施する予定です。

2. 企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社と当社の連結子会社3社及び関連会社1社で構成され、酒類等販売事業を主たる業務としております。

当社グループの事業内容及び当社と関係会社の当該事業に係わる位置付けで、主なものは次のとおりであります。

株式会社やまや

株式会社やまや（以下、当社という。）の店舗部門・通信販売において酒類及び食料品等の小売を行っております。

やまや関西株式会社

やまや関西株式会社は、店舗において酒類、食料品及び雑貨等の小売を行っております。

やまや商流株式会社

やまや商流株式会社は、製造業者及び卸売業者より酒類及び食料品等を仕入し、当社及びやまや関西株式会社へ卸売を行うとともに、当社グループ外への卸売及び小売を行っております。

大和蔵酒造株式会社

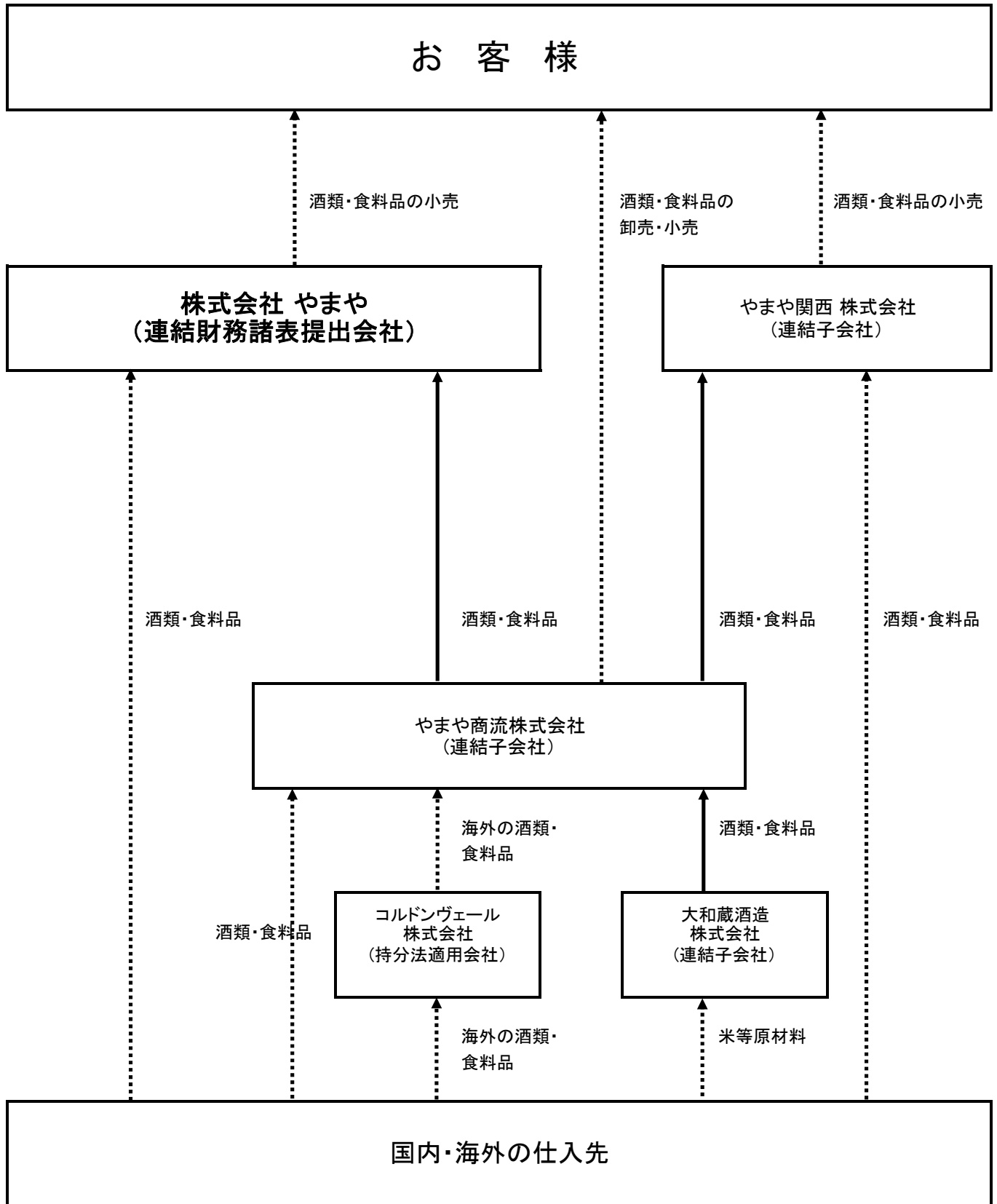
大和蔵酒造株式会社は、酒類及び食料品の製造及び卸売をしており、連結子会社のやまや商流株式会社は、同社より酒類及び食料品を仕入れております。

主要な関係会社は、次のとおりであります。

連結子会社	やまや関西株式会社	酒類・食料品・雑貨等の小売業
	やまや商流株式会社	酒類・食料品等の卸売業
	大和蔵酒造株式会社	酒類・食料品の製造・卸売業
非連結子会社	該当事項はありません。	
持分法適用会社	コルドンヴェール株式会社	酒類・食料品等の輸入業

事業系統図(平成24年3月31日)

当社および主要な連結子会社について、事業系統図によって示すと次のとおりであります。



—————▶ 当社と連結子会社との取引の流れ

.....▶ その他の取引の流れ

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「流通、販売の合理化を実践し、消費生活を豊かにすることで社会に貢献する」ことを経営の基本理念としています。この基本理念に基づいて、企業価値を高めることで、株主の皆様やお客様のご期待にお応えします。

(2) 目標とする経営指標

当社は、「持続的な成長」を目指すことを経営の目標と考えており、成長指標として「売上高成長率」、「売上高経常利益率」を重視しております。

また、成長を維持していくための適正な財務バランスの確保を図るために安定性指標として、バランスシートに注目した自己資本比率、ROE を重視してまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループが掲げる「ワールドリカーシステム」は、国内外の仕入から、店舗への商品供給・販売までを一貫して行う仕組みを称しており、物流、商流の効率化を図ることで、お客様に貢献することを目的としています。このシステムを活用して、酒類を中心とした嗜好品を販売する専門店のナショナルチェーンを作っております。

(4) 会社の対処すべき課題

- ① 酒類を中心とした嗜好品の大型専門店を出店し、チェーン展開します。
- ② 料飲店様に配達する業務卸のネットワークを拡充します。
- ③ グローバル・ソーシングを実践するインフラ企業として、ワールドリカーシステムの物流及びITを強化します。
- ④ 次世代の経営を担う人材の育成、専門性の高い店舗運営の中核人材を育成します。
- ⑤ 社会と共に存続し発展する企業グループとして構造改革を推進し、適法・適正な業務運営を実施するための内部体制を強化し、株主、お客様から高い信頼を得られるように取り組んでまいります。

(5) その他、会社の経営上重要な事項

該当する事項はありません。

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,866	2,461
売掛金	962	1,451
商品及び製品	7,250	9,683
仕掛品	69	52
原材料及び貯蔵品	17	22
前払費用	350	388
繰延税金資産	398	375
その他	1,309	1,488
流動資産合計	14,224	15,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,899	16,508
減価償却累計額	△8,919	△9,625
建物及び構築物(純額)	6,980	6,883
機械装置及び運搬具	2,540	2,574
減価償却累計額	△1,782	△1,978
機械装置及び運搬具(純額)	758	596
工具、器具及び備品	4,198	4,584
減価償却累計額	△3,293	△3,647
工具、器具及び備品(純額)	904	937
土地	5,018	4,955
建設仮勘定	105	6
有形固定資産合計	13,767	13,378
無形固定資産		
ソフトウェア	35	25
電話加入権	20	20
施設利用権	2	1
のれん	112	56
その他	2	2
無形固定資産合計	173	106
投資その他の資産		
投資有価証券	373	356
関係会社株式	271	305
出資金	2	2
破産更生債権等	36	36
長期前払費用	112	111
差入保証金	3,346	3,368
繰延税金資産	321	321
その他	30	30
貸倒引当金	△65	△65
投資その他の資産合計	4,428	4,466
固定資産合計	18,368	17,951
資産合計	32,593	33,875

(株)やまや(9994)平成24年3月期 決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,490	8,259
短期借入金	3,300	1,500
1年内返済予定の長期借入金	595	595
未払金	1,089	895
未払費用	419	412
未払法人税等	622	957
未払消費税等	184	189
預り金	60	66
賞与引当金	581	475
その他	99	89
流動負債合計	13,444	13,441
固定負債		
長期借入金	1,212	616
退職給付引当金	30	32
役員退職慰労引当金	427	450
資産除去債務	494	522
負ののれん	176	117
その他	459	372
固定負債合計	2,800	2,112
負債合計	16,244	15,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	6,055	6,055
利益剰余金	7,029	9,005
自己株式	△0	△3
株主資本合計	16,332	18,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	17
その他の包括利益累計額合計	16	17
純資産合計	16,348	18,321
負債純資産合計	32,593	33,875

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	110,241	111,940
売上原価	92,033	92,434
売上総利益	18,207	19,506
販売費及び一般管理費	15,453	15,906
営業利益	2,754	3,599
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	3	5
受取賃貸料	77	87
受取手数料	34	34
業務受託手数料	14	18
持分法による投資利益	7	34
負ののれん償却額	58	58
その他	58	96
営業外収益合計	263	344
営業外費用		
支払利息	27	17
店舗改装費用	52	30
店舗閉鎖損失	3	—
賃貸収入原価	58	49
その他	21	30
営業外費用合計	162	127
経常利益	2,855	3,817
特別利益		
退職給付制度終了益	126	—
受取補償金	9	—
違約金収入	—	9
還付酒税等	—	52
その他	1	—
特別利益合計	138	61
特別損失		
固定資産除却損	10	—
減損損失	15	142
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	173	—
災害による損失	1,018	—
投資有価証券評価損	—	57
賃貸借契約解約損	—	29
特別損失合計	1,218	229
税金等調整前当期純利益	1,774	3,649
法人税、住民税及び事業税	1,045	1,480
法人税等調整額	△79	24
法人税等合計	966	1,505
当期純利益	808	2,143

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
当期純利益	808	2,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	0
その他の包括利益合計	△3	0
包括利益	805	2,144
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	805	2,144

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	3,247	3,247
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	3,247	3,247
資本剰余金		
当期首残高	6,055	6,055
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	6,055	6,055
利益剰余金		
当期首残高	6,427	7,029
当期変動額		
剰余金の配当	△207	△167
当期純利益	808	2,143
当期変動額合計	601	1,976
当期末残高	7,029	9,005
自己株式		
当期首残高	△0	△0
当期変動額		
自己株式の取得	△0	△3
当期変動額合計	△0	△3
当期末残高	△0	△3
株主資本合計		
当期首残高	15,730	16,332
当期変動額		
剰余金の配当	△207	△167
当期純利益	808	2,143
自己株式の取得	△0	△3
当期変動額合計	601	1,972
当期末残高	16,332	18,304

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	20	16
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△3	0
当期変動額合計	△3	0
当期末残高	16	17
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	20	16
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△3	0
当期変動額合計	△3	0
当期末残高	16	17
純資産合計		
当期首残高	15,750	16,348
当期変動額		
剰余金の配当	△207	△167
当期純利益	808	2,143
自己株式の取得	△0	△3
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△3	0
当期変動額合計	598	1,972
当期末残高	16,348	18,321

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,774	3,649
減価償却費	1,366	1,340
長期前払費用償却額	16	16
減損損失	15	142
災害損失	1,018	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	173	—
固定資産除売却損益 (△は益)	7	—
賃貸借契約解約損	—	29
還付酒税等	—	△52
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	57
のれん償却額	56	56
負ののれん償却額	△58	△58
持分法による投資損益 (△は益)	△7	△34
支払利息	27	17
受取利息及び受取配当金	△11	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	136	△106
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△603	2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13	22
未収入金の増減額 (△は増加)	△77	△145
売上債権の増減額 (△は増加)	△3	△488
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,587	△2,421
仕入債務の増減額 (△は減少)	△930	1,769
その他	554	△166
小計	5,054	3,613
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△27	△16
災害損失の支払額	△12	△241
法人税等の支払額	△1,039	△1,137
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,979	2,224
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△176	△42
投資有価証券の売却による収入	10	—
有形固定資産の取得による支出	△1,118	△964
有形固定資産の売却による収入	0	—
ソフトウェアの取得による支出	△1	△1
長期前払費用の取得による支出	△12	△6
差入保証金の差入による支出	△261	△229
差入保証金の回収による収入	229	182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,331	△1,062
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	△1,800
長期借入金の返済による支出	△875	△595
自己株式の取得による支出	△0	△3
配当金の支払額	△207	△167
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,282	△2,567
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,364	△1,404
現金及び現金同等物の期首残高	2,501	3,866
現金及び現金同等物の期末残高	3,866	2,461

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

注記事項

(開示の省略)

連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記事項、リース取引、税効果会計、金融商品、退職給付、有価証券、デリバティブ取引、関連当事者との取引、賃貸等不動産に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、酒類等販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,507円 14銭	1株当たり純資産額	1,689円 51銭
1株当たり当期純利益金額	74円 56銭	1株当たり当期純利益金額	197円 63銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

当社は平成24年2月1日付で株式1株につき1.1株の株式分割を行っております。1株当たり情報の記載では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標を表記しております。

(会計方針の変更)

当連結会計年度より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

この適用により、当連結会計年度に行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前連結会計年度の1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額は以下のとおりです。

1株当たり純資産額 1,657円85銭

1株当たり当期純利益金額 82円01銭

(注)1. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
当期純利益(百万円)	808	2,143
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	808	2,143
期中平均株式数(千株)	10,847	10,847

(注)2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当連結会計年度末 (平成24年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	16,348	18,321
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	16,348	18,321
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	10,847	10,844

(重要な後発事象)

該当ございません。

5. 個別財務諸表
(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当事業年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,261	2,201
売掛金	853	1,204
商品及び製品	4,219	5,924
前払費用	249	285
繰延税金資産	307	273
未収入金	1,302	1,356
関係会社短期貸付金	341	341
その他	408	398
流動資産合計	10,944	11,986
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,644	12,077
減価償却累計額	△6,934	△7,365
建物(純額)	4,709	4,711
構築物	1,630	1,646
減価償却累計額	△1,299	△1,359
構築物(純額)	331	286
機械及び装置	776	787
減価償却累計額	△650	△673
機械及び装置(純額)	125	113
車両運搬具	50	74
減価償却累計額	△40	△54
車両運搬具(純額)	10	20
工具、器具及び備品	3,735	4,029
減価償却累計額	△3,068	△3,317
工具、器具及び備品(純額)	666	712
土地	4,929	4,866
建設仮勘定	99	4
有形固定資産合計	10,872	10,715
無形固定資産		
ソフトウェア	35	24
電話加入権	20	20
施設利用権	2	1
その他	2	2
無形固定資産合計	59	48
投資その他の資産		
投資有価証券	373	356
関係会社株式	1,530	1,530
出資金	1	1
関係会社長期貸付金	1,588	1,246
破産更生債権等	36	36
長期前払費用	60	64
差入保証金	2,394	2,438
繰延税金資産	269	246
その他	30	30
貸倒引当金	△65	△65
投資その他の資産合計	6,218	5,885
固定資産合計	17,150	16,650
資産合計	28,095	28,637

(株)やまや(9994)平成24年3月期 決算短信

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当事業年度 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,064	2,621
短期借入金	3,300	1,500
1年内返済予定の長期借入金	595	595
未払金	1,627	2,856
未払費用	323	318
未払法人税等	507	660
未払消費税等	116	129
預り金	51	54
前受収益	6	5
賞与引当金	460	379
その他	26	30
流動負債合計	9,080	9,153
固定負債		
長期借入金	1,212	616
退職給付引当金	30	32
役員退職慰労引当金	420	442
資産除去債務	332	356
長期未払金	366	293
その他	41	31
固定負債合計	2,403	1,773
負債合計	11,483	10,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金		
資本準備金	6,137	6,137
資本剰余金合計	6,137	6,137
利益剰余金		
利益準備金	111	111
その他利益剰余金		
別途積立金	3,687	3,687
繰越利益剰余金	3,411	4,513
利益剰余金合計	7,210	8,312
自己株式	△0	△3
株主資本合計	16,595	17,693
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16	17
評価・換算差額等合計	16	17
純資産合計	16,611	17,710
負債純資産合計	28,095	28,637

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	78,878	80,725
売上原価		
商品期首たな卸高	5,189	4,219
当期商品仕入高	64,886	68,446
酒税	24	31
合計	70,100	72,697
他勘定振替高	294	75
商品期末たな卸高	4,219	5,924
商品売上原価	65,585	66,698
売上総利益	13,293	14,027
販売費及び一般管理費	11,063	11,560
営業利益	2,229	2,467
営業外収益		
受取利息	31	20
受取配当金	3	5
受取賃貸料	321	304
受取手数料	29	29
その他	51	74
営業外収益合計	438	434
営業外費用		
支払利息	27	17
店舗改装費用	16	8
賃貸収入原価	243	213
その他	15	26
営業外費用合計	303	265
経常利益	2,364	2,635
特別利益		
退職給付制度終了益	124	—
受取補償金	9	—
違約金収入	—	9
還付酒税等	—	5
その他	1	—
特別利益合計	135	14
特別損失		
固定資産除却損	8	—
減損損失	15	142
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	150	—
災害による損失	412	—
投資有価証券評価損	—	57
賃貸借契約解約損	—	27
特別損失合計	586	227
税引前当期純利益	1,913	2,422
法人税、住民税及び事業税	883	1,093
法人税等調整額	△33	59
法人税等合計	850	1,153
当期純利益	1,063	1,269

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	3,247	3,247
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	3,247	3,247
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	6,137	6,137
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	6,137	6,137
資本剰余金合計		
当期首残高	6,137	6,137
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	6,137	6,137
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	111	111
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	111	111
その他利益剰余金		
別途積立金		
当期首残高	3,687	3,687
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	3,687	3,687
繰越利益剰余金		
当期首残高	2,555	3,411
当期変動額		
剰余金の配当	△207	△167
当期純利益	1,063	1,269
当期変動額合計	856	1,101
当期末残高	3,411	4,513
利益剰余金合計		
当期首残高	6,354	7,210
当期変動額		
剰余金の配当	△207	△167
当期純利益	1,063	1,269
当期変動額合計	856	1,101
当期末残高	7,210	8,312
自己株式		
当期首残高	△0	△0
当期変動額		
自己株式の取得	△0	△3
当期変動額合計	△0	△3
当期末残高	△0	△3

(株)やまや(9994)平成24年3月期 決算短信

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
株主資本合計		
当期首残高	15,739	16,595
当期変動額		
剰余金の配当	△207	△167
当期純利益	1,063	1,269
自己株式の取得	△0	△3
当期変動額合計	856	1,098
当期末残高	16,595	17,693
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	20	16
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3	0
当期変動額合計	△3	0
当期末残高	16	17
評価・換算差額等合計		
当期首残高	20	16
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3	0
当期変動額合計	△3	0
当期末残高	16	17
純資産合計		
当期首残高	15,759	16,611
当期変動額		
剰余金の配当	△207	△167
当期純利益	1,063	1,269
自己株式の取得	△0	△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3	0
当期変動額合計	852	1,098
当期末残高	16,611	17,710

(4)【継続企業の前提に関する注記】

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

6. その他

役員の異動

開示内容が定まった時点で開示いたします。